

# 事業報告

## 令和6年度 第1回 大分県公立図書館等職員研修会

YouTube 限定公開動画を視聴

期 間 令和6年5月20日（月）～令和6年6月9日（日）

参加者 公立図書館等職員 41名

### <研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、体系的に図書館サービスの基礎を学ぶ研修機会を提供することにより、県内全体での司書のスキルアップを図る。

### <研修内容>

#### 【講義1】 講義 「図書館サービスについて」

講師 県立図書館 サービス課 主幹司書兼課長 増本 貴光

#### 講義内容

図書館とは

図書館に関わる法律

公立図書館に求められる役割、図書館に望まれる様々なサービス

カウンター業務、レファレンス（調査相談）、複写に関する著作権

#### 【講義2】 講義 「児童サービスについて」

講師 県立図書館 サービス課 主幹司書 神野 貞子

#### 講義内容

児童サービスとは

蔵書、選書について

カウンター、書架、案内表示

飾り、展示、行事など

#### 【講義3】 講義 「郷土資料について」

講師 県立図書館 サービス課 司書 矢倉 美里

#### 講義内容

郷土資料（地域資料）とは何か

郷土資料の収集・保存の意義

収集の範囲

資料の整理・保存

【講義4】 「市町村図書館における県立図書館活用方法について」

講師 県立図書館 学校・地域支援課 主幹司書 阿部 詠子

講義内容

貸出サービス（OLIB、団体貸出、相互貸借）

研修等（公立図書館等職員研修会、大分県図書館大会、巡回相談・司書等派遣）

その他のサービス

※令和5年度第1回大分県公立図書館等職員研修会と同じ内容です。

また、講師の肩書は令和5年当時のものです。

<参加者感想>

- ◇初めての業務が多いので、知らないことも多く研修を受けることができてよかった。
- ◇図書館勤務2年目の身として、図書館に求められているものは何か、また図書館サービスを再確認し、今後の働きでどのように対応していくか改めて考え直すきっかけになった。
- ◇全ての講義において、各講師の説明が落ちついた口調で聞きやすく、内容が分かりやすかった。
- ◇別添資料が充実していて、それを参照しながら受けることができて分かりやすかった。
- ◇研修資料の中に、レファレンスに関連する資料が配布されていたのが嬉しかった。
- ◇特に「児童サービスについて」の講義は、選書について具体的に教えていただいたので大変参考になった。
- ◇郷土資料に関して難しい印象しかなかったが、今回受講したことでコツをつかめた気がする。
- ◇協力貸出のオーリーブや団体貸出、相互貸借について詳しく学ぶことができ、今後利用者の方に説明できる自信がついた。
- ◇動画配信での研修は職場で受講することができるので、とても助かる。